

栗東市商工会女性部
活動事例紹介

ビジネスコミュニティ型補助金事業

「災害に負けない地域の強靱化対策事業」

11月6日～7日

「実施研修会」 （宮城県塩竈市、仙台市方面）

いつ、どこで起こるかわからない災害に対し「いつも」の備えが、「もしも」で役立つよう考え学び、地域の防災力・減災力強化に取り組みました。

●塩竈市津波防災センター

「東日本大震災」発災後の1週間の当時の状況を振り返り、次の災害に備える取り組みをパネルを通して見学し、そのとき何が起き、人々が何を求め、状況はどのように変化していったのかについて、目の当たりにしました。



●震災遺構 仙台市荒浜地区住宅基礎

当時の人々のくらしがあった住宅などがすべて流され、見渡す限り野原になったところに、慰霊碑や供養塔があり、亡くなられた方約数百名の名前が銘板に刻まれ、手を合わせ、津波の脅威を感じ、震災のすさまじさを間近に見て参りました。



ビジネスコミュニティ型補助金事業

「災害に負けない地域の強靱化対策事業」

11月6日～7日

「実施研修会」（宮城県塩竈市、仙台市方面）

●震災遺構 仙台市立荒浜小学校

津波により被災した荒れ果てた教室がありのままで保存され、当時の地域住民の避難先にもなった小学校を見学し、津波の威力や脅威を実感しました。生徒・教職員・地域住民320名全員が無事救助されたことに安堵しました。



●せんだい3.11メモリアル交流館

「東日本大震災」の多数の写真を見学し、津波で被災された語り部さんから、当時の自衛隊に救助され助かった経験などお話をいただきました。みなさまのご支援に支えられて力強く生きてこられたことに涙して感動しました。



ビジネスコミュニティ型補助金事業

「災害に負けない地域の強靱化対策事業」

11月25日

「防災・減災」セミナー

防災・減災への取り組みについて、消防士による能登半島地震での体験を交えたお話をいただき、災害時の対応等について理解を深めました。また、女性の視点から検討することで、地域の防災・減災を高める「防災リーフレット」作成の参考となる知識、手法を得ました。



「防災リーフレット」の作成・活用

「いつも」の備えが「もしも」で役立つよう考え、女性の視点から作成した「防災リーフレット」を商工会員・商工会女性部員等に配布し、活用していただくことで、地域の防災力・減災力を高め、今後の災害に備えに役立てていただくよう働きかけました。



10月29日 視察研修事業

●関西リサイクルシステムズ(株)

SDGsの観点から、家電リサイクルについて、身近な家電製品がどのようにリサイクルされているのか、洗濯機の実演解体による実際の工程を間近で見学し、環境問題について知識を深めました。



●奥村記念館

100年の知と技に触れることができる施設にて、免震建物で免震装置を見学、地震・免震体験装置で免震効果を体感し、防災・減災の意識が高まりました。



SDGSへ貢献 ホンデリングと使用済み切手の回収

ホンデリングとは、不要になった本やCDなどを回収して、犯罪被害者支援に役立てる事業です。

本486冊 CD・DVD 62枚

おうみ犯罪被害者支援センターに寄付しました。
また、使用済み切手を回収し、栗東市社会福祉協議会に寄付しました。



12月16日 寄せ植え教室

お正月を迎える玄関に、かわいいお花の寄せ植えが出来上がりました。



今後の予定

1月16日

手作り教室

～コサージュ作り～

